

インクルーシブ研修会活動報告

大阪市立巽中学校 松田裕貴

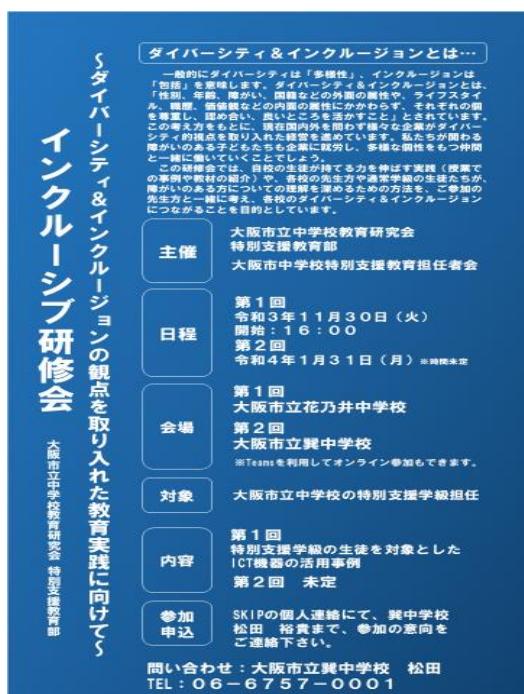
○インクルーシブ研修会について

昨年度まで開催されていた、「インクルーシブフレッシュ研修会」の後を受け、コロナ禍のなかでも開催できる特別支援教育の研修会を企画・運営していきたいという思いから、今年度より実施させていただきました。大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部主催のもと、勤務時間内に研修会を開くことができるよう調整し、第1回を11月に、第2回を1月に開催しました。2回を通じて合計55名の先生方にご参加いただきました。

○内容について

1回目は「ダイバーシティ＆インクルージョンについて」と、「特別支援学級の生徒を対象としたICT機器の活用について」をテーマに行いました。「ダイバーシティ＆インクルージョンについて」では、障がいのある方の法定雇用率が増加したことや、障がいのある方を含めたダイバーシティ（多様性）のある人材が、今後社会で活躍する場が増えていくであろうという流れ（2018年 経済産業省 「ダイバーシティ2.0」より）を鑑み、中学校の特別支援学級の授業等で、ICT機器を積極的に活用することが将来社会で活躍することにつながるのではないかと考えました。その流れから、特別支援学級の生徒を対象としたICT機器の活用について、一人一台学習者用端末で利用することができ、本校でも利用している学習系のwebサイトを紹介させていただきました。

その後、オンライン参加の先生方も含めて、グループを作り、各校の特別支援教育に関する現状や、取り組みの情報交換を行いました。



2回目は、「1回目の事後アンケートで多くご意見をいただいた、「特別支援学級在籍生徒の評価について」をテーマに行いました。入り込み支援を行っている生徒や抽出授業を行っている生徒、また、その生徒のチャレンジテストに関する取り扱い等、本校の評価の取り組みを紹介し、その後はご参加の先生方で各校の情報交換を行いました。

1回目、2回目ともに、アンケートでは「他校の先生方と情報交換ができるよかったです」というご意見が多く、また、研修会で扱って欲しいテーマ（長期欠席生徒との関わりや、学校間の連携等）についても数多くご意見をいただきました。



○今後について

研修会後のアンケートで、研修会について肯定的なご意見を多数いただきましたので、次年度以降も継続して開催していきたいと考えています。アンケートでいただいた内容をベースに、先生方のニーズに沿ったテーマを設定していきたいと考えています。また、ご参加いただいた先生方での情報交換も、オンライン参加の先生方も含めて継続して行っていく予定です。たくさんの先生方にご参加いただければ、情報交換の内容が濃くなると思います。興味のある先生方は、ぜひご参加いただき、ご自身の実践につなげていただければ幸いです。